

平成17年度 日本航空協会賞および国際航空連盟賞受賞者

来る9月20日(火)新橋の航空会館にて「空の日」行事として日本航空協会賞の表彰式および国際航空連盟賞の伝達式が行われます。(財)日本航空協会表彰委員会において決定された本年度の受賞者は下記の方々です。(敬称略)

記

I. 日本航空協会航空関係者表彰

1. 航空亀齡賞 (2名)

<永年に亙り航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

池田 研爾 元三菱重工業(株)常務取締役 (社)日本航空宇宙工業会推薦
我が国初の小型民間ビジネス機 MU-2 の開発指導等、戦中戦後を通じ航空機の設計開発に携わり、航空技術の進歩や航空産業の発展に貢献

妻鹿 栄二 元航空交通管制本部長 (財)航空振興財団推薦

航空交通管制本部長また(財)航空振興財団航空保安システム技術委員会委員として長く航空交通管制分野に関わり航空交通の近代化に貢献

2. 航空功績賞 (3名)

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方又はグループに贈る賞>

石川 達 元石川島播磨重工業(株)専務取締役 (社)日本航空宇宙工業会推薦
欧州から数々の新技术を吸収しエンジンの国産化率向上に尽力、国際共同開発 V2500 エンジンプロジェクトで日本側の枢要な役割を果たす

川原 武 (社)日本航空機操縦士協会会長・元全日本空輸(株)常務取締役
(社)日本航空機操縦士協会推薦
航空会社運航本部長として新機種導入や路線拡大に指導力を発揮、又公益法人会長として航空行政等に関わる研究検討事業に参画

岸本 道太 元国立東京第一病院循環器科医長 (財)航空医学研究センター推薦
長年に亙り航空身体検査証明審査会の委員・委員長を務めるとともに、航空医学研究に携わり、航空医学の発展と航空の安全向上に寄与した。

3. 航空スポーツ賞（団体賞2チーム、個人賞2名）

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立、又は、同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞＞

もりなかれいこ
森中玲子と(社)日本グライダークラブ マウンテンウェーブフライト プロジェクトチーム
平成16年12月～平成17年1月、アルゼンチンにて、滑空機（オープンクラス女子）による往復距離飛行1187.0km、自由三旋点距離飛行1270.5kmの2つの世界記録を樹立
(社)日本滑空協会推薦

おかぎょうこ
岡崎葉子 アレキサンダー・ゾーマン
平成16年9月ブラジルで開催されたパラシュージング世界選手権フリースタイル女子で日本チームとして初優勝
日本パラシュージング委員会推薦

かねがわ しげる
金川 茂
平成17年5月アルゼンチンで開催された模型航空フリーフライトエンジン機世界選手権で日本人として初優勝
日本模型航空連盟推薦

いしい みつる
石井 満
平成17年6月、埼玉県くまがやドーム体育館にて、室内模型グライダー機で滞空時間71.4秒の世界記録を樹立
日本模型航空連盟推薦

なお、本年度は、航空文化賞、航空特別賞の該当者はありませんでした。

II. 国際航空連盟(FAI)賞伝達

本年創立100周年を迎えた国際航空連盟(FAI)は、航空スポーツの発展を目的に1905年に設立された国際組織で、ローザンヌに本部を置き、世界選手権や世界記録の公認などを行っています。日本航空協会は、日本唯一のFAI正会員として日本選手権の開催や日本記録の公認、世界選手権への日本選手団派遣、航空功労者のFAIへの推薦などを行っています。国際航空連盟賞の授賞式は10月12日、パリで開催される第98回FAI100周年記念総会開会式にて行われます。

1. オノラリー・グループ・ディプロマ（1件2団体）

＜航空や宇宙飛行の発展に多大に貢献した団体に贈る賞＞ 日本気球連盟推薦

越後風船共和国 30年近くの長きに亘り、「おぢや風船一揆」等の大会を開催し、
小千谷市 熱気球の普及と地域振興に多大に貢献

2. ポール・ティサンディエ・ディプロマ（3名）

＜団体組織等で指導的役割を果たし、航空スポーツの発展に顕著な業績のあった個人に贈る賞＞

おざき じゅんじ
小笹 純嗣 日本気球連盟推薦

日本気球連盟事務局長として各種登録管理事務の集約化や効率的システム構築等に取り組み、会員の利便性向上と熱気球の普及に貢献

おかむら ごろう
岡村 五郎 (社)日本航空機操縦士協会推薦

インテリジェントスーパーウィングス会長として飛行技術競技会の開催やイベント参画を通して自家用操縦士の技量と安全向上に貢献

あずま
東

あきら
昭

日本模型航空連盟・(社)日本滑空協会推薦 東大名誉教授

長きに亘り日本模型航空連盟や(社)日本滑空協会会長を務め、組織
発展の基盤を築くとともに、航空スポーツの安全性向上に貢献

3. エア・スポーツ・メダル (4名)

＜航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢
献があった個人又は団体に贈る賞＞

えがわ かつとし
江川 活敏

日本気球連盟推薦

平成6年以来、中国四国地方唯一の熱気球大会「邑久バルーンミー
ティング」を開催し、熱気球の普及と後進育成に貢献

さいとう おさむ
斎藤 紀

エクスペリメンタル航空機連盟推薦

鷹取式高性能グライダーを始め多くのグライダーの設計製作に携わ
り、自作機講習会講師等を務める等、安全性向上と後進育成に貢献

ごしま のぼる
五島 登

(社)日本滑空協会推薦

学生航空連盟のリーダーとして50年の長きに亘り後進の指導育成
にあたり、グライダーの操縦技術向上や振興発展に貢献

さいとう けんじ
斎藤 健司

FAI国際ロータークラフト委員会・(社)日本航空機操縦士協会推薦

平成11年世界選手権第1種目優勝や、イベントへの参画、メディア
での露出を通じ、我が国ヘリコプタースポーツの認知度向上に貢献

III. 表彰式および祝賀会

1. 日 時： 平成17年9月20日(火)

表彰式：14:00～14:30 祝賀会：14:40～

2. 場 所： 新橋 航空会館 7階 大ホール (東京都港区新橋1-18-1)

お問い合わせ先：(財)日本航空協会・表彰委員会事務局／^{さかさい}逆井・種村 TEL:03-3502-1203

以上